女子７８ｋｇ級

準決勝戦第１試合

３鳥部谷　真弓　　上四方固　　○２高橋　千尋
(セコム)　　(三井住友海上火災保険)
右組み同士の対戦。高橋は、試合前半は鳥谷部の低い背負投に苦しめられるが、徐々に長身を利して攻勢を強める。残り１２秒には、苦し紛れの小内刈に来た鳥谷部を潰して上四方固で抑え込む。

準決勝戦第２試合

４平岡　麻美○　　崩袈裟固　　３石川　笑美子
(平成国際大学柔道クラブ)　　(日本エースサポート)
右組み同士の対戦ながら、上背で上回る平岡が徐々に石川の奥襟を制す。充分に組み止めて後の１分３４秒、右大外刈で石川を崩し、そのまま寝技に移行。逃れようとする石川を執拗に攻め、遂に１分５２秒に崩袈裟固(最後は後袈裟固)で抑え込む。

決勝戦

２高橋　千尋　　優勢勝　　⊖４平岡　麻美
(三井住友海上火災保険)　　(平成国際大学柔道クラブ)
高橋が左、平岡は右、ケンカ組み手の両者の戦い。平岡は右釣り手で長身の高橋の奥襟を握り、引き手争いを制して大外刈で盛んに攻める。足の長い高橋は辛うじてこれを防ぐも守勢が続き、２分２８秒に指導１。
その後も平岡の攻勢が続き、高橋に残り１分には指導２。試合終了間際には平岡に指導１が与えられるが、そのまま時間。
組み手を制し試合の主導権を保持し続けた平岡が指導によるポイント差で勝利し、２年ぶり４度目の優勝を飾る。